

ROUKEN



キキョウ(桔梗) Balloon flower

青紫色をした星形の花びらがかわいらしい桔梗は、秋の七草の1つとしても知られています。古くから日本では秋の風物詩として親しまれており、万葉集で詠まれたアサガオの花は桔梗ともいわれ、詩歌にも多く取り上げられています。

花言葉は『永遠の愛』『誠実』『変わらぬ愛』『気品』『清楚』『従順』。

桔梗の根は昔から漢方としても用いられていました。

均整のとれた五角形が重用され、たくさんの武士たちが家紋にしてきました。桔梗の花を供物として神様や仏様に捧げ、吉凶を占ったことに由来されています。「吉凶」の発音が「桔梗」に転じたともされ、家紋としての桔梗の花は運命を案じる花であったとされています。英語の「balloon flower」は、花のつぼみが膨らんだ風船のようなことに因んでいます。



多年草で、原産地は日本を含む東アジア
草丈15～150cmの草花・山野草
開花期は6月～10月で、花色は白、ピンク、紫
耐寒性・耐暑性が強く、開花期間が長い。

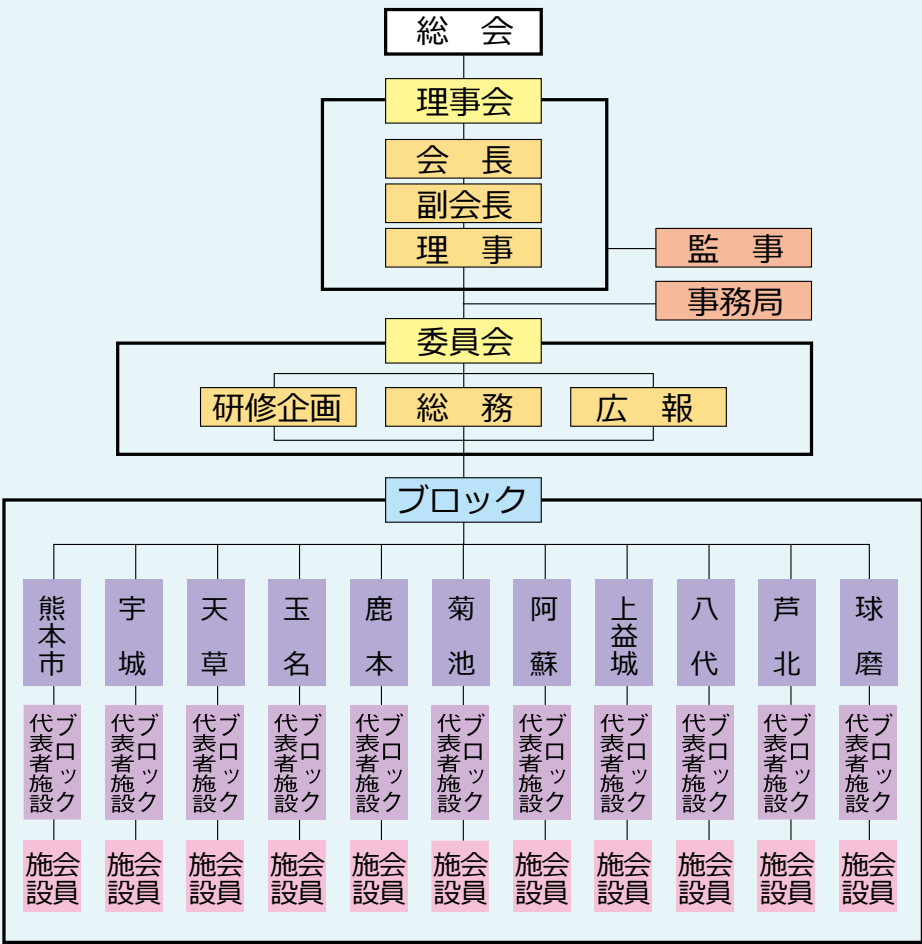
一般社団法人 熊本県老人保健施設協会

一般社団法人 熊本県老人保健施設協会

〒868-0041 熊本県人吉市七地町 495 介護老人保健施設リバーサイド御薬園内

TEL 0966-26-3681 FAX 0966-26-3680 E-mail: kmrouken@orange.ocn.ne.jp

一般社団法人熊本市老人保健施設協会組織図



- 総 会
理事会
委員会
各ブロック
- 年1回、6月に開催する。
通常理事会(年2回の開催、6月、3月)
臨時理事会(必要に応じて開催する。)
●総務委員会 理事会の指示のもとに会務全般の庶務を行う。具体的には事業計画の立案、実施状況の把握、老健運営上の課題の整理、県担当部局との調整など。
●研修企画委員会 年間を通しての研修の企画、講師の選定、研修の運営、研修の評価等。
●広報委員会 広報誌の発行、ホームページの作成、会員への情報伝達方法の検討。
地域振興局単位で意見の集約を図り、老人保健施設の立場から地域の活動に協力していくために、熊本市及び地域振興局単位でブロックを編成する。
施設間、職種間での意見の交換を行い、課題の整理と活動を行うこととする。

目次

一般社団法人熊本市老人保健施設協会組織図・目次2

制度改正と介護老人保健施設の機能について 理事 藤岡靖也3

「熊本地震から1年」 震災研修会4~5

新人職員研修会開催6~8

各ブロック職種別活動の報告9

熊本県老人保健施設協会会員施設10~11

施設紹介12~14

広報委員の思い出の写真集15

原稿募集のお願い・編集後記16

制度改正と介護老人保健施設の機能について

一般社団法人熊本県老人保健施設協会 理事 藤岡靖也



平素より、当協会の運営にご協力いただき誠にありがとうございます。

甚大な被害をもたらした平成二八年熊本地震からの復旧が続いているところも多いと思います。本年五月、熊本テルサにて開催された当協会主催の「熊本地震から一年」震災研修会では、被害の大きかった会員施設を中心に、今後の各施設での災害対策に資する内容が数多く報告されました。今回、当協会内で課題の共有ができたことは大変意義高く、災害時における老健施設の果たすべき役割を考察する契機になることを期待しております。

さて、平成三〇年の介護保険法改正についての内容が明らかになってまいりました。今号が発行される頃は、より詳細な内容を皆様も目にされているところと思いますが、現時点で報道されている内容について感じたことを述べたいと思います。

まず、現役並みの所得がある高齢者の介護保険サービス利用料が、平成三〇年八月より三割負担に引き上げられます。制度の持続性を高める点は理解できる部分もありますが、平成二七年度改正で二割負担が導入されたばかりでの負担増は、サービスの抑制につながるものと十分考えられます。

また、介護療養病床の廃止がさらに延長されるとともに、新たに「介護医療院」が創設されます。国が目指す病床削減後の受け皿となり得るのか、今後の議論が注目されます。

このほか、保険者機能強化のもと介護予防や重度化防止につながる取り組みの成果に対し、財政的なインセンティブが導入されるようです。この成果の指標が、要介護度の軽度化あるいは要介護認定率の軽減効果だけで評価されては、この先自立支援の意味合いが変化していくのではないかと危惧しています。

これらの改正は地域包括ケアシステムの強化のためとされています。老健施設のもつ在宅復帰機能は、住み慣れた地域で暮らし続けるためにリハビリテーションを提供し身体機能の向上を図ることであり、地域包括ケアシステムの実現に老健施設の機能が地域で中核的な役割を担うことは、これまで他の先生方が述べられているとおりです。しかし今後はこれにとどまらず、在宅ケアの受け皿としてあるいは在宅療養支援の結果として老健施設におけるターミナルケアの機能が地域包括ケアシステムのなかで評価されていく流れは今後加速していくかもしれません。

人材の確保が困難となるなか、老健施設のもつ機能が今後ますます重要となるものと思います。が、地域のニーズに合った施設づくりのために、なお一層皆様のご協力をよろしくお願いいたします。





震災研修会 会場

今後の災害発生時の対応方針を

厚生省行政評価局・厚生労働省厚生科学課

企画官 山田 章 平



初動対応で、4月15日に「厚生労働省現地対策本部」を設置し、最大40名を派遣しました。行政や避難所運営者の業務を増やせる状況ではなく、負担にならない方法を進めることが必要で、また、日が過ぎる毎に新たに発生する課題への対応でした。

被災県以外の災害派遣精神医療チームで広域支援を実施、また様々な医療関係者の活動を調整する仕組みを用い対応しました。災害時の保健師活動は重要で全国から69チームの保健師を派遣、情報整理・分析し共有する必要がありましたが、入力等に手間がかかり事務職の必要性が課題になりました。平成28年度から研修を開始している、災害時保健活動支援チームの養成を期待しています。

介護職員の派遣では、延べ6,400人の職員を派遣しましたが、どこにも所属しない有料老人ホームの把握や、自宅への派遣が困難でした。また避難所では、トイレ・食事と健康面や衛生管理が重要な課題です。特にコミュニケーション不足や運動不足を克服するため、大学生や民間会社から取り組みを実施してもらいました。

厚生労働省内では、熊本地震対応の検証を実施、基礎自治体の圧倒的な人員不足が大きな課題となりました。今後、熊本地震における検討すべき事例の135項目を参考に、今後の災害発生時の対応方針を定めていきます。



写真左から、西川事務局長・山内理嗣様・前田逸人様・西田剛様・本田充郎様・山田章平様

平成28年4月14日の前震、16日の本震と震度7の熊本地方で発生した「熊本地震」、誰しもが予想せぬ出来事でした。当時各施設では、利用者様の安全第1を考え対応に追われる状況下にありました。県民全体が被災者でありながら、お互いの事をおもいやり、復旧・復興に向け各施設で動かれています。今回は、この熊本地震の体験を教訓に、今後の施設運営に役立てればと思ひ、熊本地震から1年それぞれの立場から当時の対応や報告を含めた研修会を開催致しました。
今回の機関誌では、震災対応について紹介致します。

日頃の予防と備えと災害に対する意識

熊本県健康福祉部 長寿社会局

——(現)熊本県総務部政策審議監 本 田 逸 郎



熊本地震時は県健康福祉部長寿社会局長として災害対応にあたりました。県の災害対応として関係機関と連携した救助活動や、情報収集による応援派遣や支援を行いました。防災拠点の被災や支援物資の輸送混乱、さらに避難所運営と住家被害認定調査や車中泊・軒先避難者の把握と課題が大きく生じました。

県内の高齢者関係施設では、3,354ある施設のうち750施設が破損するなど甚大な被害が発生、被災施設からの人的ニーズを把握、関係機関と連携し全国社会福祉協議会が行う介護職員等のマッチング支援を実施しました。応援派遣では、社会福祉施設全体に延べ5,881人、高齢者関係43施設に対し4,833人、福祉避難所13施設に延べ2,053人の介護職員を派遣しました。

避難所支援では、JRATや広域リハセンターによる、エコノミー症候群や生活不活発予防のため災害リハビリテーション活動が行われ、仮設住宅でも復興リハビリテーションで地域支え合いセンターによる総合的な支援も実施されました。

地域包括支援センターでは大規模災害時の在宅高齢者対応機能が低下し、在宅安否の確認にも支障をきたしました。深刻な事態にならないうちに介護支援専門員の専門職団体等が連携体制の構築を速やかに行い、地域包括ケアシステムづくりをすることが重要であり、日頃からの介護予防や食料備蓄等、災害に対する意識をもつことが必要です。

「公平な立場での判断」が課題

介護老人保健施設 なごみの里

特別養護老人ホーム いこいの里

——事務長 西 田 剛



なごみの里は、震度5強の揺れでしたが建物には大きな被害はなく、益城町にあるいこいの里も建物の大きな被害はありませんでした。停電はしたものの、非常用電源を活用しトイレが使えた為、避難所として解放しました。避難者は増え続け100名を超し、有志による炊き出しも困難になり、当施設に避難者がいることを町に連絡したところ、町指定の避難所に決定、町職員が常駐し安定的な物資が確保できました。しかし、職員も避難所生活や車中泊と疲労し、出勤困難者などもあり、デイサービスの開始もできない状況でした。そこで「いこいネット」を立ち上げ、支援施設より介護職員をボランティアで派遣して頂くなど人的支援をお願いしました。目的は施設支援であることを理解してもらい、受入施設の内容、手順、方法を遵守頂き、受入施設職員自身も被災者であることへも理解をお願いしました。

5月からは福祉避難所として、町や県職員、ボランティアで運営にあたりました。しかし各行政の関与の重要性や、食事費や住居費等に係わる公平な立場での判断が必要であることなどが大きな課題となりました。

迷いのない行動が必要

介護老人保健施設 リハビリセンターひばり

——通所リハビリ管理者 前 田 逸 人



南阿蘇村では最大6強を観測。施設の破損と入所者や職員の人的被害は免れたものの、インフラの壊滅的被害や道路の寸断で通動できる職員には限りがあり、施設運営には困難がありました。

入所棟は自家発電機による照明と3日分の食料と飲料水、水源まで軽トラックで往復してトイレや洗面に使う水の調達を行い、入所者46名のケアにあたりました。幸い3日目からは支援物資が届き、4日目には電気も復旧しましたが、職員も被災しており職員不足の問題は残されたままでした。通所リハも職員の目途が立たず、本格的に再開ができたのは震災から24日後でした。また、6名の職員が家屋被災により通動困難となり、退職を余儀なくされました。

震災後は施設内の職員アンケートを実施、地震発生前の取り組みがどう生かされたか、良かった点や不足点の洗い出しを行いました。当施設は阿蘇噴火などの災害も想定されるので、一人一人が防災意識を高め地域の施設としての役割を果たせるよう考える必要があります。

被災時の施設運営には、県内外の施設や医療関係機関からの職員派遣や医師や看護師によるケア等、またはボランティアや慰問と多くの人に助けられました。このような災害では、行政や他の事業所との連携、施設指針を明確化し迷いのない行動が必要であると考えさせられました。

日頃から考えておくべきこと

社会福祉法人慈光会 介護老人保健施設 ケアポート益城

——法人本部 総務部長 山 内 理 嗣



当施設は被害が一番大きかった益城町にあり、地盤沈下で給排水管や擁壁等が破損、さらに停電断水が発生しました。職員や利用者には負傷はないものの、職員には精神的疲労が大きく重なりました。

ケアポート内での療養は危険と判断し、厚労省・県の下了解を受け利用者全員を関連の特養施設に移動を行いました。その後、国土交通省の調査で宅地建物危険判定を受けケアポート益城の閉鎖を決定、県老健施設協会に協力の依頼を出し、利用者を県下28施設病院に移動しました。

事業所閉鎖にあたり、職員への経過説明と一時解雇の説明を実施し、職員の意向も重視した個人面談も行いました。約3分の1の人は法人内での勤務希望でしたが、とにかくしばらく休みたい等の意向が多く、疲労が感じられるものでした。

SNSの活用や団体に属してなくても支援が届くような災害時のネットワーク構築、そして福祉避難所運営のシミュレーションを日頃から考えておく必要があると考えさせられました。不安のない建物や職場再建に向けて職員と共に動き出しています。たくさんのご支援に感謝申し上げます。

平成29年度熊本県老人保健施設協会

「新人職員研修会」開催

期日 平成29年5月26日(金)・6月16日(金)

会場 火の国ハイツ 2階「瑞鳳」



講義5

講義内容

「介護保険制度の基礎」

講師 介護老人保健施設 なごみの里 事務長 西田 剛 氏

講義では介護保険制度の定義と、要介護認定から認定調査判定そしてサービスと一連の流れを学びました。

介護保険事業所には他種なサービス事業所があり、その認定により介護サービスが違う事を熟知して欲しいと話されました。利用者の方には年齢や経験年数は関係なく、プロとして利用者負担にあったケアに務め、分からないことは堂々と尋ね、同じ事を繰り返し聞かない努力を惜しまないで欲しいと述べられました。

介護施設で自分が働く根拠を知り、誰の為に何をやるべきかを考え、経験を重ね後輩の気持ちが理解できる指導ができる先輩になれるように、精一杯努力して欲しいと激励されました。



講義4

講義内容

「リスクマネジメントについて」

講師 介護老人保健施設 阿房宮 介護主任 佐伯耕一 氏

老健施設におけるリスクマネジメントは、利用者に関するリスクと施設や運営上のリスクとは区別して考え、実態把握・分析・対応・防止と一連の活動を継続的に実施し、組織ぐるみでリスク回避に努め管理していく活動であると説明されました。

実態把握では、見たままを時系列で報告書を作成し、それに基づいて今後の事故発生の防止や発生時の対応について職員に周知して、必要に応じて委員会の立ち上げや研修の重要性を話されました。また、リスク把握ではヒヤリ・ハットの報告書は9割の施設で活用されており、その意義と考え方、そしてポイントと説明され事故を未然に防止する為のヒヤリ・ハットの活用もお話し頂きました。

重要な事は、報告はただの報告でなく、ケアの向上に努め日頃からアンテナを張り巡らせ、新人のうちから身につけていく事と締めくくられました。



講義2

講義内容

「プロフェッショナルの流儀」

講師 日本介護福祉士会 熊本県介護福祉士会 会長 石本淳也 氏

まず介護業界で働く基本に触れられ、利用者が生涯を終える場所として在宅か施設かはそれぞれが違っている事をよく理解しながら、日本の社会保障にあるプロの職業であること認識を促されました。また、働くうえでは社会保障制度についても興味を持ち知ってもらい、認定介護士や福祉士を目指し公的プロとしての立場を築けるよう頑張ってくださいと激励されました。

今後の介護業界は、福祉ニーズの多様化や複雑化、または高齢化での支援体制の人材確保や資質向上等、新たな時代へ対応した福祉の役割が大きく関わると説明されたうえで、介護福祉士は、専門的知識や技術を持って介護職のリーダーとなり、プロフェッショナルであって欲しいとも述べられました。

講義3

講義内容

「老健における多職種協働について」

講師 介護老人保健施設 あさひコート 相談室室長 中嶋健一 氏

老人保健施設の役割は、在宅復帰を目指すものでありその目的を達するには、介護老人保健施設は多職種での協働が基本でかつ重要である事を忘れてならないと、入所から退所までの流れを説明いただきました。入所から退所までには、数々の専門職による知恵と力をあわせたチームとして、より良い効果的で効率的な協働でのサービスの提供が不可欠であり、利用者の情報共有や理解、または役割分担と責任の明確化でそれぞれ職務にあたりわかりやすい言葉で、チームを実施していく事が必要と話されました。

介護施設は、在宅へのバトンタッチの場でもあるので、専門職として念入りに本人や家族への指導にあたる事は最も重要だと最後に話されました。

講義1

講義内容

「介護老人保健施設の理念と役割」

講師 熊本県老人保健施設協会 会長 山田和彦 氏

研修の冒頭では、山田会長より介護の世界に関わって来られてからの当時の状況や、これまでに老健施設が目指してきた事の経過や制度について説明頂きました。また、老人保健施設は介護保険制度の中心であり基準ともなるので、自信を持って働いて欲しいと参加者へ述べられました。

講義では、介護老人保健施設の理念である、在宅復帰を目指した総合的援助と、家族・地域・機関との協力を念頭に、包括ケア・リハビリ・在宅復帰・在宅生活支援・地域に根ざすという5つの老健保健施設の基礎の役割をわかりやすくお話し頂きました。

また最後には、今後の老健施設の機能は、多職種協働で生活機能の維持・回復で在宅生活の継続や支援を地域との連携でおこない、入所中心でなく在宅支援の拠点になるべき中核的施設へなるべきだと締めくくられました。

本年度も新人職員研修を5月6月と2班に分け、火の国ハイツにて開催致しました。研修には187名の多種の職種の方々に参加頂き、5つの講義とグループワークでの意見交換を行いました。講義では、老人保健施設の役割や保険制度等の基礎を学び、グループワークではそれぞれの悩みや疑問点等を話し合い、活発な意見が出されました。

ブロック職種別活動の報告 平成29年4月～平成29年6月

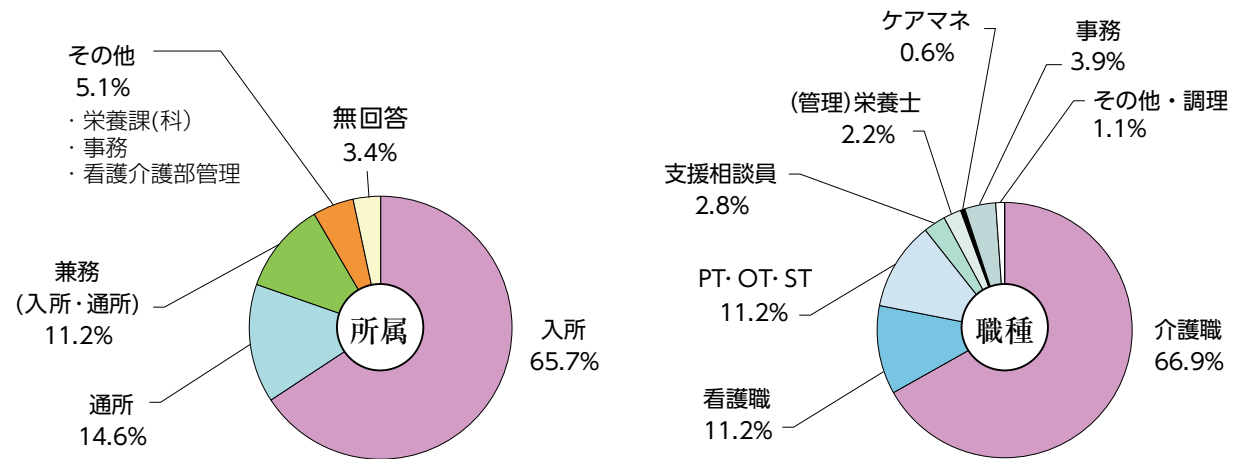
会 合 名	期 日	内 容	参加数
熊本市ブロック 熊本：28施設			
看護・介護部会	5月20日(土)	○H29年度熊本県老健年間計画 ○H29年度活動計画 ○情報交換、意見交換 ○その他連絡事項	37名
宇城・阿蘇・上益城ブロック (合同) 宇城：4施設 阿蘇：4施設 上益城：6施設			
栄養部会	5月17日(水)	○熊本地震後の取り組みを各施設から発表 ○実地指導内容報告	32名
通所リハビリ部会	6月15日(木)	○施設・自己紹介 ○情報交換	17名
天草ブロック 天草：11施設			
世話役会	5月17日(水)	○H28 年度各部会事業報告 ○H29 年度各部会事業計画 ○H29 年度ブロック施設選任について ○H29 年度事業計画・予算について ○H30 年医療介護老人保健施設同時改定に向けた研修会開催について ○世話役会について	9名
事務管理部会	5月17日(水)	○H28 年度事務管理部会事業報告 ○H29 年度事務管理部会事業計画 ○世話役会担当者持ち回り制について	5名
リハビリ部会	6月7日(水)	○本年度の計画について ○介護保険改定に向けての取り組みについて ○症例報告	11名
通所リハビリ部会	6月16日(金)	○職員教育（新人教育等）について各施設より発表 ○質疑応答	5名
玉名・鹿本・菊池ブロック (合同) 玉名：9施設 鹿本：3施設 菊池：7施設			
担当者会議	4月14日(金)	○各連絡会 H28 年度活動報告 ○各連絡会 H29 年度活動計画について ○活動報告、活動計画についての意見交換 ○ブロック代表者より ○その他意見交換会	19名
看護・介護部会	5月18日(木)	○H29 年度看護・介護部会責任者名簿配布 ○情報交換、意見交換会 ○その他	18名
	7月13日(木)	○講演「看取り」講師：地域ケアプラン研究所・海 代表 大石逸子氏 ○経費広告	55名
支援相談・ケアマネ部会	7月14日(金)	○意見交換、情報交換 ①実地指導について ②リスク説明があるか ③H30 年度の法改正に向けての対策 ④地域ケア病棟～在宅・有料ホームへのケースが増えている中での対策	32名
リハビリ部会	7月1日(土)	○「拘縮変形予防の安泰なポジショニングの方法」 ○H28 年度報告と反省会 ○実地指導等情報交換 ○本年度計画立案	29名
通所リハビリ部会	5月19日(金)	○今年度の活動報告 ○情報交換会 ○施設見学会	20名
八代・芦北ブロック (合同) 八代：7施設 芦北：3施設			
看護・介護部会	6月23日(金)	○在宅復帰の状況について ○行事、レクリエーション実施状況について ○実地指導について	21名
球磨ブロック 球磨：7施設			
全体会議	4月26日(水)	○「全体会議」の開催について ○「全体研修会」及び「交流会」開催について ○「各専門部会」開催について ○協会会員施設間連絡体制」について ○その他事項	27名
支援相談部会	6月16日(金)	○個別の事例検討会 ○各施設における在宅復帰困難事例についての意見交換 ○その他事項（連絡事項他）	11名
看護・介護部会	6月9日(金)	○【議題】 老健施設におけるリスクマネジメント 事故報告書、ヒヤリハット提出状況・提出後の対応、事故 対策の周知方法について、各施設での取り組みの情報を共有し、各施設のリスクマネジメントに役立てる機会とする ○その他	12名
栄養部会	6月14日(水)	○困っている事について、患者様の事例を元に検討	6名
	2月17日(金)	○摂食嚥下障害について ○実地指導報告・情報交換 ○次年度代表施設について	6名
リハビリ部会	3月17日(金)	○実地指導報告 ○平成 28 年度の反省 ○情報交換	11名

※平成29年6月末日までに報告書が届いた分です。

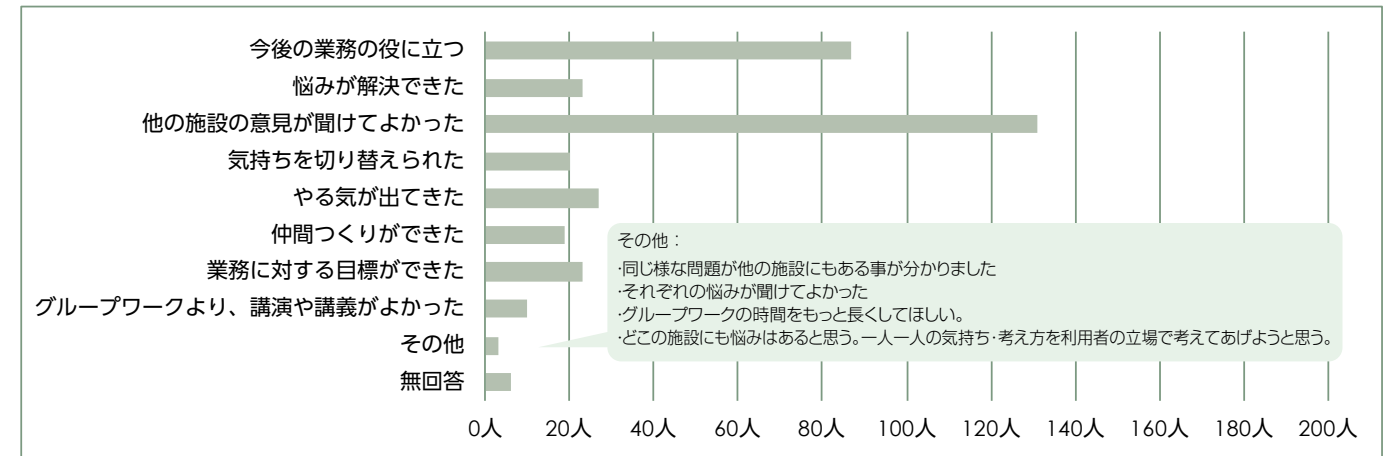
新人・成人・研修員・年度修会

参加者アンケート結果（2回合計）
参加者：187名 うち回答数：178名

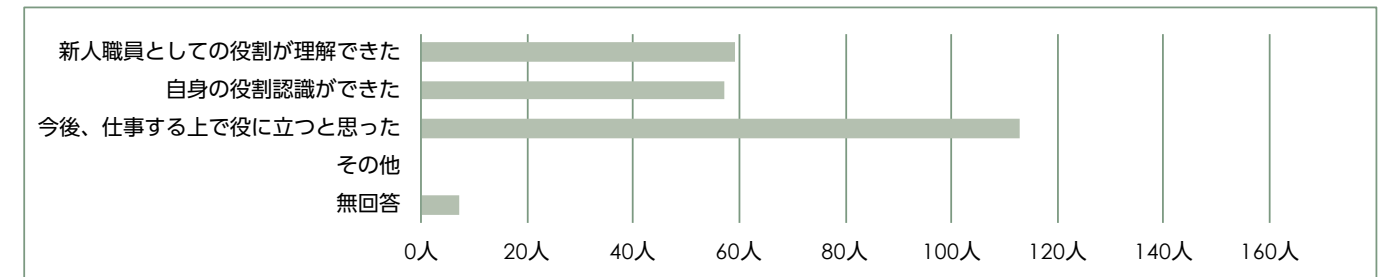
【参加者の所属・職種】



【グループワークについて】



【研修を受講して】



【研修会の内容について(感じた事・学んだ事)】

研修会で学び感じた事

- ・研修会で学んだ事や、グループワークでの意見は職場で活用したい
- ・介護職に感心をもち、責任ある仕事であることを再認識した
- ・利用者の立場でのケアが大事だと感じた
- ・職場のチームワークの必要性を感じた
- ・介護施設の役割や保険制度がよくわかった
- ・他施設の意見も聞かれ、勉強かつ参考になった
- ・勤務2年を過ぎ、「慣れ」になりがちな時の研修で、再度復習できよかった
- ・今後は人材確保が厳しい環境にあるようだが、環境改善に貢献できるよう頑張りたい
- ・在宅復帰でのリハビリの意義がよくわかりました

今後の研修会で取り上げて欲しい事

- ・利用者とのコミュニケーション方法や、リクレーション等を取り上げて欲しい
- ・老健、特養などの各施設の特徴
- ・スタッフや外国人労働者とのコミュニケーション方法
- ・実技でのヒヤリハットの事例
- ・それぞれの他職種が求めること



- ①清雅苑 熊本市北区山室6丁目8ー1 096-345-8112

●②コスモピア熊本 熊本市東区尾ノ上1丁目3ー12 096-384-8088

③桔梗苑 熊本市南区城南町沈目1481 0964-28-6811

④おとなの学校本校 熊本市東区三郎1丁目12ー30 096-385-6262

⑤青翔苑 熊本市西区島崎2丁目21ー10 096-359-5377

⑥阿房宮 熊本市北区龍田陳内1ー3ー20 096-337-1111

⑦杏の里 熊本市西区池田1丁目14ー78 096-351-2788

⑧南楓苑 熊本市中央区南熊本2丁目11ー1 096-371-5111

⑨光乃里 熊本市南区城南町今吉野972 0964-28-8000

⑩ぎんなんの里 熊本市北区楡木1丁目3ー70 096-337-2700

⑪湧心苑 熊本市中央区出水4丁目15ー30 096-371-4165

⑫ケアビレッジ箱根崎 熊本市北区植木町正清888 096-274-7700

⑬ばたん園 熊本市南区御幸笛田6丁目8ー1 096-370-1222

⑭第二コスモピア熊本 熊本市東区尾ノ上1丁目8ー8 096-360-3111

⑮白藤苑 熊本市南区白藤5ー1ー1 096-358-7200

⑯みつづ苑 熊本市北区貢町135 096-323-6123

⑰のぞみ 熊本市中央区本荘3丁目7ー18 096-371-3399

⑱シルバーピア水前寺 熊本市中央区水前寺5丁目2ー22 096-384-3399

⑲メディエイト鶴翔苑 熊本市東区保田窪本町10ー112 096-387-8181

⑳フォレスト熊本 熊本市中央区渡鹿5丁目1ー37 096-363-0101

㉑なすび園 熊本市西区沖新町3353 096-329-5666

㉒田迎ケアセンター 熊本市南区出仲間5丁目2ー2 096-378-2223

㉓ケアセンター赤とんぼ 熊本市東区戸島西2丁目3番10号 096-331-3737

㉔なでしこ 熊本市中央区北千反畑町2ー5 096-343-7450

㉕かなこぎ苑 熊本市北区硯川町768-1 096-275-2788

㉖葵の森 熊本市西区松尾町近津1480番地 096-311-4004

㉗ゆずりは 熊本市南区城南町高1099 0964-28-6311

㉘ひらた苑 熊本市北区植木町平原212 096-272-5486

- ㉙青海苑 宇城市三角町郡浦739ー8 0964-54-1311

③⑩あさひコート 宇土市旭町106番地 0964-23-5211

③①景雅苑 宇土市上網田町3676 0964-27-17086

③②なごみの里 下益城郡美里町堅志田192ー1 0964-47-6011

- ③③慈恵苑 天草郡苓北町上津深江278ー10 0969-37-1567

③④本渡ケア・ホーム 天草市下浦町2090ー1 0969-24-3331

③⑤臥龍園 天草郡苓北町富岡3273番地2 0969-35-1530

③⑥松朗園 上天草市松島町今泉32ー1 0969-56-3111

③⑦ブルーマリン天草 天草市五和町御領9133 0969-32-2112

③⑧ケアセンター鶴丸 天草市久玉町62ー1 0969-72-6072

●③⑨天草中央総合病院附属 天草市東町101 0969-22-2111

④⑩きららの里 上天草市龍ヶ岳町高戸1419ー19 0969-62-1123

④⑪ほんごう苑 上天草市大矢野町登立8607 0964-56-5110

④⑫ケーナ・ガーデン 天草市河浦町河浦4778ー3 0969-76-1808

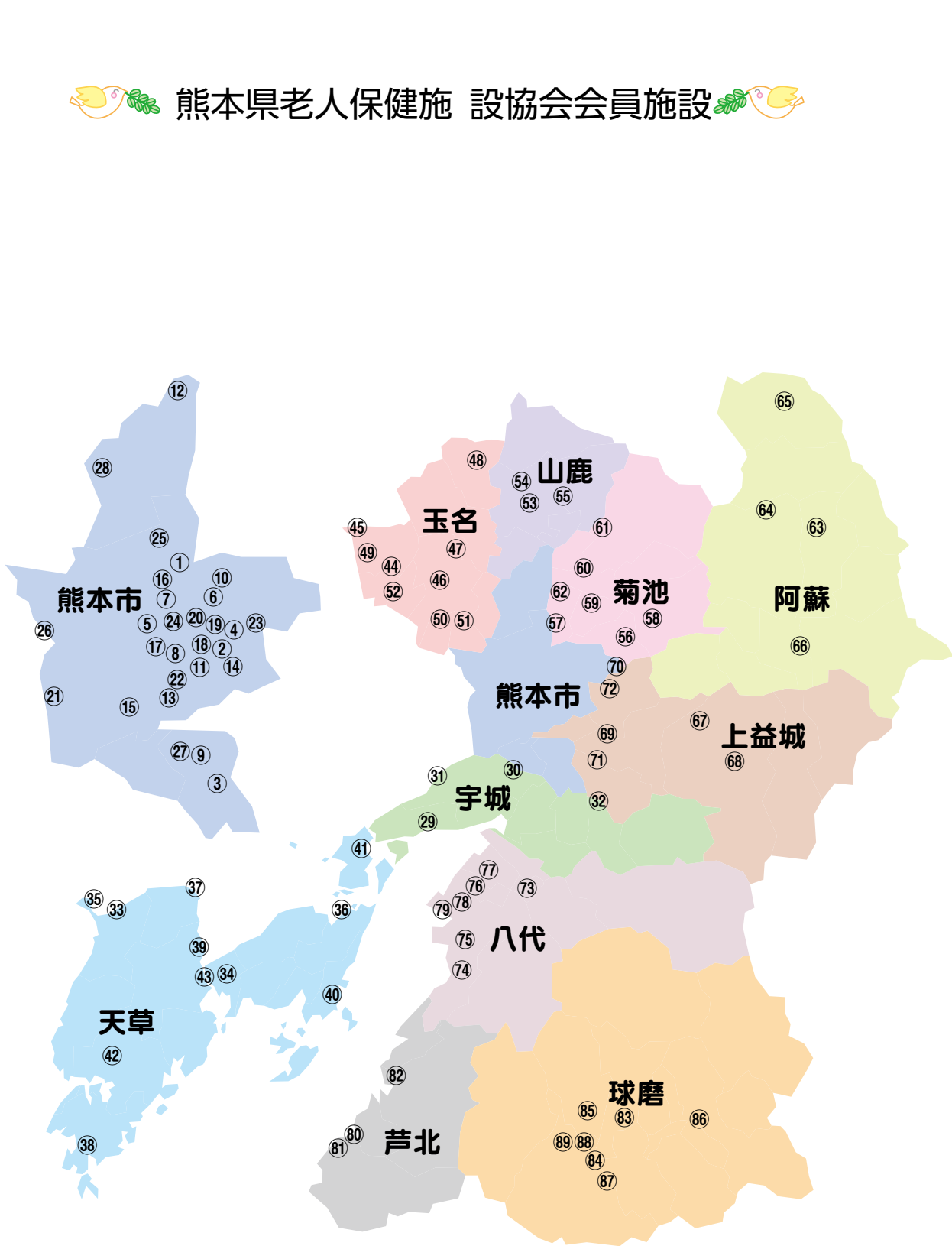
④⑬夢織りの里天草 天草市楠浦町字掛場59番5 0969-22-8288

- ④④聖ルカ苑 玉名郡長洲町宮野2772ー10 0968-78-5521

④⑤慈眼苑 荒尾市増永708ー2 0968-64-1018

●④⑥樹心台 玉名市伊倉北方272 0968-73-4165

④⑦ゆうきの里 玉名市上小田1063 0968-74-0666



- ④⑧清風苑 玉名郡和水町上板楠1697ー1 0968-34-3700

④⑨平成ドリーム館 荒尾市水野1556 0968-68-7770

⑤⑩星雲荘 玉名市横島町横島3384 0968-84-3717

⑤⑪てんすい倶楽部 玉名市天水町部田見1214ー15 0968-71-5600

⑤⑫幸 玉名市岱明町鍋1831 0968-57-5105
- ⑤⑬希望の園 山鹿市山鹿369 0968-44-2100

⑤⑭山鹿リハビリセンター 山鹿市熊入町313 0968-43-4370

●⑤⑮太陽 山鹿市鹿本町津袋654ー1 0968-46-6111
- ⑤⑯サンライズヒル 菊池郡菊陽町曲手760 096-232-5656

⑤⑰桜の里 合志市須屋702 096-343-8377

⑤⑱おおつかの郷 菊池郡大津町陣内1165 096-294-1500

●⑤⑲ひらせ記念リハビリ苑 合志市福原3111 096-248-7100

⑥⑩孔子の里 菊池市泗水町福本904ー1 0968-38-5666

⑥⑪リハビリセンターきくちの里 菊池市大琳寺123 0968-23-7721

⑥⑫有隣 合志市野々島字東原4414ー17 096-242-5050
- ⑥⑬阿蘇グリーンヒル 阿蘇市一の宮町宮地121 0967-22-0500

⑥⑭愛・ライフ内牧 阿蘇市内牧1105ー1 0967-32-5511

⑥⑮おぐに老人保健施設 阿蘇郡小国町大字宮原1742ー1 0967-46-6111

●⑥⑯リハセンターひばり 阿蘇郡南阿蘇村大字吉田2044ー2 0967-64-8000
- ⑥⑰彩雲苑 上益城郡山都町北中島2701 0967-75-0222

●⑥⑱ライフライト矢部 上益城郡山都町下市60 0967-72-1110

⑥⑲御船清流園 上益城郡御船町御船1062ー1 096-282-1616

⑦⑩平成唯仁館 上益城郡益城町宮園字三の迫1139ー1 096-286-0666

⑦⑪ナーシングケア緑風苑 上益城郡甲佐町白旗271 096-234-3788

⑦⑫ケアポート益城 上益城郡益城町安永1030 096-289-0777
- ⑦⑬八祥苑 八代市氷川町早尾1097 0965-62-4818

⑦⑭ハピネスケア日南 八代市日奈久塩北町2922 0965-38-0700

⑦⑮向春苑 八代市大福寺町2411ー1 0965-33-8660

⑦⑯アメニティゆうりん 八代市古閑浜町西塩浜3401 0965-33-8880

●⑦⑰かがみ苑 八代市鏡町塩浜11ー235 0965-30-4000

⑦⑱皇寿園 八代市高島町4218 0965-33-5545

⑦⑲とまと 八代市郡築1番町180ー1 0965-37-3737
- ⑦⑳やすらぎ苑 水俣市浜4051 0966-63-8621

⑧①白梅の里 水俣市浜4098ー18 0966-63-3888

●⑧②新清苑 芦北郡芦北町大字芦北字塩屋田尻2727ー1 0966-61-3055
- ⑧③サンライフみのり 球磨郡相良村大字川辺1778 0966-35-0840

⑧④リバーサイド御薬園 人吉市七地町495 0966-22-6811

⑧⑤山江老人保健施設 球磨郡山江村大字山田字南永シ切1705 0966-24-9800

⑧⑥シルバーエイト 球磨郡多良木町大字多良木4210 0966-42-5288

⑧⑦タンポポ 人吉市下漆田町字後平1538 0966-25-1551

⑧⑧愛生 人吉市南泉田町89 0966-28-3586

●⑧⑨もみの木 人吉市下林町232 0966-22-0200

●は平成29年度ブロック代表者施設です。

熊本ブロック 19

メディエイト鶴翔苑

熊本市東区保田窪に位置する当施設は、医療法人社団鶴友会 鶴田病院に併設する老人保健施設として、平成9年12月に開苑し、今年で20年目を迎えます。同建物内に「居宅介護支援センター鶴翔苑」「鶴翔苑訪問看護ステーション」「鶴翔苑訪問介護ステーション」を有し、近隣に「地域包括支援センターささえりあ保田窪」があります。4階部分で鶴田病院と連絡しており、各関連施設と密に連携・協力を図り、地域に根ざした施設として、医療・福祉サービスの提供に努めております。

当施設の特徴として、開設当初より「音楽療法」を取り入



れ、音楽を通じて、ご利用者のADL・QOLの向上、認知症の進行防止等に力を入れております。平成26年9月からは、「在宅強化型老人保健施設」として、老健の役割である「在宅復帰・在宅生活支援」に、より一層努めております。また、職員の仕事と生活の両立（ワークライフバランス）にも積極的に取り組んでおり、ご利用者・ご家族だけではなく、職員も“笑顔”になれる施設を目指しております。

今後も『最良の医療・福祉サービスを提供する。笑顔に満ちた地域の施設を目指す』の基本理念のもと、地域包括ケアシステムの中核施設として地域に貢献できるよう職員一同一層努力してまいります。

熊本市東区保田窪本町10-112
TEL 096-387-8181 FAX 096-387-7001
入所定員：61名 通所定員：80名



八代ブロック 76

アメニティゆうりん



ー&フラワー等のクラブ活動は大変喜んで頂いています。

施設内外の併設事業として、林整形外科医院（通所リハ含む）・有料老人ホーム・訪問介護・通リハ・訪問リハ・訪問看護・居宅支援事業所・包括支援センターを備え、日常の生活圏内で、医療、介護、介護予防、生活支援サービス等を包括的且つ継続的に受けられるよう、充実したサービス体制を執っています。今後も、「ご利用者様・ご家族様第一主義」をモットーに、地域と一体となった老健施設となるよう日々努力していきます。

平成7年開設以来、基本理念「ふれ愛と思いやり」、安全理念「安全は経営の基盤であり社会への責務」の2つの理念を柱に安全と信頼を約束することを使命として取り組んでいます。当施設は、「寝たきりの人は座れるように」「座れる人は立てるように」「立てる人は一歩でも歩ける様に」を願いに、機能回復訓練を中心に、リハ専門スタッフ10名を配し個々にあったプログラムで訓練を行っています。

また、療養生活を楽しく過ごして頂く為に、ご家族様・地域住民の方を招いた毎月の誕生日会を始め運動会・納涼祭・敬老会等の催し、趣味活動の陶芸・習字・トールペイント・ネイル・ティ



八代市古閑浜町字西塩浜3401番地
TEL 0965-33-8880 FAX 0965-33-7500
入所定員：85名 通所定員：60名

菊池ブロック 59

ひらせ記念リハビリ苑



していて、地域の保健・福祉交流の拠点として常に活動を展開していることも安心感につながっているようです。

いくつもの大浴場に加え、歩行困難な人のための特殊浴槽を設置し、スタッフの付き添いでくつろぎながらゆっくりと入浴できるようになっています。

季節に応じた行事食、食事バイキングなど工夫を凝らした献立は利用者の皆様に好評です。

「家庭的な雰囲気のなかで質の高いケアを提供する」をモットーに、スタッフ一同よりよい介護を心がけています。

熊本県合志市福原3111
TEL 096-248-7100 FAX 096-248-7105
入所定員：80名 通所定員：30名

光の森ゆめタウンからアンビー熊本へと続く商業都市のなかに施設はあります。市街地の中に位置するわりには、広大な敷地とまわりが自然環境に恵まれているのが大きな特徴かもしれません。

「1日も早く、お一人おひとりが生き生きと家庭生活できますよう」を目標にして、苑では専門スタッフによる指導のもと、自立を目指した計画的なりハビリに取り組んでいます。

介護老人福祉施設 紀水ナーシングホームが隣接



熊本市ブロック 20

フォレスト熊本

当施設は、『あなたのやすらぎの森になりたい』をスローガンに、緑と水の街に開設し20年を迎えます。そこから生まれた七色の特色をご紹介します。①高齢者施設が生きがいの場に『多種多彩の50種以上のアクティビティプログラム（音楽療法・生け花愛好会・歴史カフェ等）』が要介護度に関わらず、利用者のレベルで楽しむ事が出来る ②在宅強化型老健として、PT・OT・STが意図的計画的支援を行い、在宅で生き生きとした生活が送れるよう支援『在宅復帰率70%以上』③大規模通所として集団の力を活かし脳リハ・集団運動を実施 ④認知症ケア・メンタルケアの専門家が多数在席『今そ



熊本市中央区渡鹿5丁目1番37号
TEL 096-363-0101 FAX 096-363-3363
入所定員：80名 通所定員：100名



の時の利用者と寄り添うケア』が充実 ⑤熊本を一望できる展望風呂で天然ハーブ等を使用した特別浴を実施 ⑥個別ケアの充実、専門家の指導を受けハンドケア等実施 ⑦多種多様のボランティア200名以上が利用者の生活をサポート。逆に地域のニーズに応じサロン等へ講師派遣、熊本地震被災者支援等職員が地域でボランティアを実施。

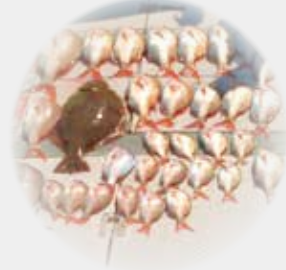
今後も、『幸齢社会』『豊かなまちづくり』を推進する拠点となる為にチーム一丸となり頑張っ参ります。

春夏秋冬

皆様からの投稿写真集

皆様からの投稿写真、いろんな情報など募集しています。

一心行の大桜

“道の駅たるみず”
からの桜島タイ他
たくさん
釣れました高千穂峽
(宮崎県)川辺川
(熊本県南部の清流)で
釣ったヤマメたち青島
(宮崎県)

五家荘の紅葉



G家の愛犬



五ヶ瀬ハイランドスキー場



阿蘇ブロック 64

愛・ライフ内牧

阿蘇市内牧1105-1

TEL 0967-32-5511 FAX 0967-32-5321

入所定員：125名 通所定員：80名



リハビリスタッフには音楽療法士、言語療法士、認定を持った歯科衛生士の資格者も配置し、各専門職が連携を行いチームで自立支援や在宅復帰支援に力を入ると共に利用者様に寄り添い、一人一人に応じた安心安全なサービスの提供を心がけています。坂梨会グループの居宅介護支援、訪問介護、訪問看護、訪問リハ、デイケア、デイサービス、短時間リハ、有料老人ホームなどの在宅事業所や地域のサービス事業所とも連携した災害時の緊急受入れ体制も整え地域から信頼される施設を目指しています。

愛・ライフ内牧は平成9年に医療法人 社団坂梨会 阿蘇温泉病院の併設として入所者数80名で開設し、今年20周年を迎えました。

現在は入所者数125名、通所者数80名で運営し、配食サービスも25名に行なっています。施設は阿蘇市の内牧温泉街の中に位置し、阿蘇山や外輪山の四季折々の風景を望みながら療養していただけると共に、天然温泉源泉かけ流しのお風呂を楽しんで頂ける施設として療養棟やデイケアの利用者様に喜んで頂いています。



歯科衛生士による口腔機能維持・改善の取り組み風景

天草ブロック 42

ケーナ・ガーデン

熊本県天草市河浦町河浦4778-3

TEL 0969-76-1808 FAX 0969-76-1551

入所定員：50名 通所定員：30名

私共の施設ケーナ・ガーデンは天草下島のほぼ真ん中の天草市河浦町に有り、周辺は自然が豊富でとても静かな環境です。

ご高齢の方が住み慣れた地域社会、家族生活に復帰することを目指し、そのための各種サービスを「明るく・楽しく・安心して療養出来る施設」という施設運営方針に基づく施設サービス計画(ケアプラン)を企て、チームケアによるきめ細やかなリハビリ・介護・医療を提供しております。



高齢者ケアの基本を踏まえた日常生活サービス、明るく楽しく普段の家庭生活に近い雰囲気作りを心掛けるとともに、理学療法士による本格的なリハビリテーション、特にパワリハビリテーションを施設開設後間もなくより開始。多くの施設ご入所者・通所リハビリテーションご利用者からお喜び頂いております。

これからも地域の皆様に喜ばれ、必要とされる施設づくりを目指してまいります。今後ともご理解ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

原稿募集

「ろうけん熊本」では紙面の充実の為、老健施設職員の皆様からの様々な情報、写真等を随時募集しております。

応募してもいいと思われる方は、このページを切り取るか、コピーなどで送信ください。簡単な内容をお知らせください。後日、広報委員からご連絡差し上げます。

FAX送信票

<送信先> FAX 0966-26-3680 熊本県老人保健施設協会 事務局 広報委員 行

- | | |
|--|---------------------------------------|
| ☐ ペット自慢 () | ☐ うちのイケメン職員紹介 |
| ☐ 施設の活動について | ☐ 施設の人気の料理メニュー |
| ☐ 行事の記事や写真 | ☐ レクリエーション紹介 |
| ☐ 研修の感想 | ☐ 旅行記 |
| ☐ うちの地域の自慢や祭り紹介 | |
| ☐ その他 () | |

[施設名]

[お名前]

[ご連絡先] TEL

FAX

メールアドレス

※申し込多数の場合は、ご連絡が遅くなる場合がございますのでご了承ください。

編集後記

現在、広報委員会を4名にて運営しております。ホームページや広報誌などの企画・立案等もさることながら発行作業も合わせて行っており、とてもやりがいがあります。今回、老健施設職員の方を対象に今後の活動にご協力いただける方を若干名募集しております。興味のある方は老健事務局までお問い合わせください。

山鹿リハビリセンター 岩尾

広報委員

土肥 英樹(サンライフみのり)
後藤 健(青海苑)

岩尾 英憲(山鹿リハビリセンター)
立山奈津美(協会事務局)

印刷:シモダ印刷株式会社